

## ナマズの知恵袋

平成 24 年 (2012 年) 3 月 1 日  
編集・発行 滋賀県立図書館

瀬田の唐橋

(デジタルアーカイブ『高級版琵琶湖十六景より』)

## 滋賀を歩く



堅田の落雁

(デジタルアーカイブ『高級版琵琶湖十六景より』)

滋賀県は豊かな自然と歴史・文化に彩られています。少し足をのばしてみると、雄大な山々に美しい琵琶湖、歴史の面影を残す町や文化に出会うことができます。春はすぐそこまで来ています。本を片手に滋賀を歩いてみませんか。

**近江の歴史を歩く**

都に近く古代から交通の要衝だった滋賀県は、歴史の宝庫です。

『滋賀県の歴史散歩』上・下巻 滋賀県歴史散歩編集委員会編 山川出版社 2008 年 [S-2900-1・2]  
の上巻は大津・湖南・甲賀、下巻は彦根・湖東・湖北・湖西の史跡・名勝・文化財などを数多く掲載しています。所在地やそこに至る公共交通機関、各地域の歴史散歩のモデルコースが記されているほか、文化財公開施設などの付録も豊富。

どこから巡ろうかお悩みの方には、おススメのコースを歩いてみてはいかがでしょうか。

『近江路散歩 24 コース』池田宏編 山川出版社 2001 年 [S-2900-01]は、24 のおススメコースを紹介しています。これらのコースはすべて JR もしくは私鉄の駅を起点にして、徒歩で 1 日あれば回れるコースです。また、『関西むかし町 & 古街道をあるく』JTB パブリッシング 2010 年 [S-2900-10]にもおススメコースがあります。

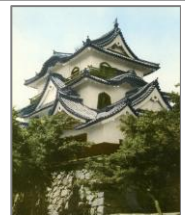
**テーマに沿って歩く**

テーマを決めてじっくり歩いてみると、新たな発見があるかもしれません。

**街道**

『近江東海道を歩く』八杉淳著 サンライズ出版 2010 年 [S-2900-10]

『中山道 69 次を歩く』改訂版 岸本豊著 信濃毎日新聞社 2011 年 [S-2900-11]



彦根城 (デジタルアーカイブ『琵琶湖 原色刷十六景』より)

**城**

『近江の山城ベスト 50 を歩く』中井均編 サンライズ出版 2006 年 [S-2900-06]

**城下町**

『近江城郭探訪』滋賀県教育委員会編 滋賀県文化財保護協会 2006 年 [S-2900-06]

『近江の城下町を歩く』淡海文化を育てる会編集 サンライズ出版 2005 年 [S-2900-05]

**近江人**

『近江商人のふるさとを歩く』AKINDO 委員会編 サンライズ出版 2000 年 [S-6700-00]

**古典文学****を歩く**

『源氏物語の近江を歩く』畑裕子著 サンライズ出版 2008 年 [S-9000-08]

『近江万葉の道』木村至宏[ほか]著 淡海文化を育てる会編・刊 2002 年 [S-9100-02]

『淡海の芭蕉句碑』上・下 新装版 乾憲雄著 サンライズ出版 2004 年 [S-9200-1・2]

## もっと気軽に街中ウォーキング

とりあえず身近なところから歩いてみたい、という方におすすめなのが、

『ピワイチマップ ピワイチ観光ウォーキングマップ』びわこビジターズビューロー編・刊 2009年 [S-2900-09]

『淡海歩行コース 50選』滋賀県健康福祉部編 滋賀県 1995年 [S-2900-95]

『歩いて楽しむ近江琵琶湖若狭』JTBパブリッシング 2011年 [S-2900-11]

色々なコースの中から、お好みに合ったものを選んでいただけます。

どうせなら琵琶湖を一周してみたい、というチャレンジャーには、

『琵琶湖を歩く ぐるっと一周どこからでもはじめられる230キロ、18コース』山と溪谷社 2006年 [S-2900-06]

『Walk 2003年春夏号 ウォーク関西版(特集:琵琶湖一周ウォーク)』山と溪谷社 2003年 [S-2900-03]  
などをご参考に。一周およそ230キロのロングウォークが楽しめます。



## 歩くのに疲れたら…サイクリングはいかが？

最近は自転車のための環境も整えられてきました。



特に琵琶湖岸には快適なサイクリングコースが広がっています。安全運転でお出かけください！

『ぐるっとびわ湖自転車の旅 びわ湖一周サイクリング公式ガイド』輪の国びわ湖推進協議会編

京都新聞出版センター 2011年 [S-2900-11]

『琵琶湖一周サイクリングガイドマップ』第7回改版 滋賀県バイコロジーをすすめる会 2003年 [SB-2900-03]

『京都・奈良・滋賀自転車散歩』多賀一雄[ほか]著 山と溪谷社 2007年 [S-2900-07]

## 登山・ハイキングでリフレッシュ！

周囲を山に囲まれた滋賀県では、少し足を延ばすと登山やハイキングを楽しむことができます。山では四季折々の風景を楽しめるのはもちろん、人々の営みや歴史を感じることができます。

『滋賀県の山』改訂版 山本武人著 山と溪谷社 2010年 [S-2990-10]には、滋賀県の山の概要やコース・見所がまとめてあります。また、『近江の峠道』木村至宏編著 サンライズ出版 2007年 [S-2990-07]では、近江の歴史にまつわる山の姿を知ることができます。

その他にも地域や山ごとの案内もあります。

『北近江の山歩き』西岳人著 サンライズ出版 2008年 [S-2990-08]

『伊吹山案内』草川啓三著 ナカニシヤ出版 2009年 [S-2996-09]

『鈴鹿の山万能ガイド』西内正弘著 中日新聞社 2006年 [S-2995-06]

『比叡山を歩く旅』[峰順一][文] 山と溪谷社 2009年 [S-1811-09]

『近江湖西の山を歩く』草川啓三著 ナカニシヤ出版 2004年 [S-2990-04]



## 自然を楽しむ

ふと目にとまった花の名前がわかると、歩く楽しみもふえるものです。滋賀県に分布する自生の山野草を収録している『滋賀の山野に咲く花 700種』澁田義行写真・文 サンライズ出版 2012年 [S-4700-12]や『伊吹山の植物』大川勝徳著 幻冬舎ルネッサンス 2009年 [S-4796-09]、『鈴鹿の山で見られる花』鈴鹿の山花散策会編集 今村悦子 2004年 [S-4795-04]は全編カラーで見やすくなっています。